

## HOW TO USE

### パンフレットの使い方

下記QRコードをスマートフォンの  
カメラで撮影

読み取り画面が立ち上がる

カメラマークのページを撮影

 被写体認識基盤サービス対応

そのまま特設ページへ  
詳細情報を確認することができます。



被写体認識基盤サービスとは？

スマートフォン・タブレットが捉えた画像や文字情報を認識し、  
画像に付随するアクション情報を提供するクラウドサービスです。

PROJECT  
IoTソリューション  
青木酒造株式会社様

# 01

## 杜氏の経験と勘を IoTで「見える化」。

180年以上の歴史を持つ老舗酒蔵、青木酒造株式会社。長年培ってきた杜氏の技能を将来の世代に受け継ぐため、酒造りの工程にIoT技術を取り入れた。設備の各所にセンサーを設置し、温度や湿度、重量など、酒の出来を左右する情報を「エッジゲートウェイ装置」を活用することでクラウド環境(AWS)に格納。詳細なデータを蓄積したことで、これまで杜氏の「経験」と「勘」に頼っていた部分を、技術の力で「見える化」させることに成功した。また、それらの蓄積された膨大なデータは、法令で義務付けられた、各工程の管理内容を記録する「管理帳簿作成業務」などにも活用され、業務の効率化にも寄与している。

⇒ 詳細はプロジェクト特設サイトへ  
写真を撮って詳しく知ろう

 被写体認識基盤サービス対応

PROJECT  
顔認証システム「NeoFace」  
医療法人社団永生会 永生病院様

# 02

## 離院の危険を防ぎ、 監視の負担を軽減。

高次脳機能障害や認知症などの患者さまが、医師の許可なく無断で外出してしまう「無断離院」は、医療機関が長年頭を悩ませてきた重大な問題だ。患者さまが誰にも気付かれることなく外出してしまうと、ものの5分でその行方は分からなくなってしまう。大きな事故に繋がりがねないこの問題を解決するため、永生病院では「顔認証システム」を導入した。病院のエントランスにカメラを設置し、対象とする患者さまがそこを通れば、世界最高レベルの顔認証技術がすばやく顔を認識。アラームがなり、パトライトが点灯することで、無断離院を未然に防ぐ仕組みだ。医療現場の高い安全性を確保しつつ、病院職員の監視負担の軽減にも貢献した。

⇒ 詳細はプロジェクト特設サイトへ  
写真を撮って詳しく知ろう

 被写体認識基盤サービス対応

PROJECT  
被写体認識基盤サービス  
瑞穂町図書館様 瑞穂町郷土資料館けやき館様

# 03

## 過去と未来を繋ぐ、 新しい地域活性化。

東京都西多摩郡瑞穂町が運営する瑞穂町郷土資料館「けやき館」。この館内ホールの床面には、「パースアイ瑞穂」と呼ばれる街全域を写しだした航空写真が展示されている。ここに「被写体認識基盤サービス」を導入することで、同町が運営する瑞穂町図書館のデジタルアーカイブ資料を融合した。スマートフォンやタブレットで床面の航空写真を撮影すると、デジタルアーカイブ化された資料に紐付き、端末画面でより詳細な情報を閲覧することができる。二次元コードのようなマークを必要としないため、その他の常設展示物にも応用可能。手軽に利用できることが受け、来館者数の増加に繋がった。新しい情報発信の手段として、地域活性化を実現した。

⇒ 詳細はプロジェクト特設サイトへ  
写真を撮って詳しく知ろう

 被写体認識基盤サービス対応